

# 日本産水産物輸出オンライン商品説明会 報告書



主 催

水産物・水産加工品輸出拡大協議会

運 営

エグジビションテクノロジーズ（株）

2021年 3月11日（木）

# 開催概要

## 1. 概 容

### 1) 実施趣旨

(1) 昨年度に実施した「日本産水産物輸出商談会 in 東京 2019」が好評であったことから、コロナ禍であっても事実上の継続実施を可能とするオンラインでのサポート体制で実施し、輸出拡大に貢献する。

(2) 日本の水産業者・加工業者の輸出への現状と課題

- ・「外国語が話せるスタッフが社内に不在」
- ・「まずは、輸出開始というより、輸出に向けての可能性を知りたい」
- ・「サポートが得られるのであれば、輸出に挑戦したい」
- ・「オンライン環境が無いので、サポートいただけるのであれば参加したい」
- ・「オンライン商談は、試食が必要な水産業界に向いていないが、入出国の再開まで何も出来ないことも問題と感じている」  
等であることを鑑み、参加者の状況に相応したサポートが施された形式の商品説明会を実施した。

### 2) 実施期間

2021年2月22日（月）～3月5日（金）

- ・ 開催期間内に効率的な商品説明を実施すべく、データ提出が為された参加者から順次、HPに掲載し、告知を実施した。主要対象国（タイ、中国）には、現地協力先を通じ、その都度、現地バイヤーへの案内を実施した。

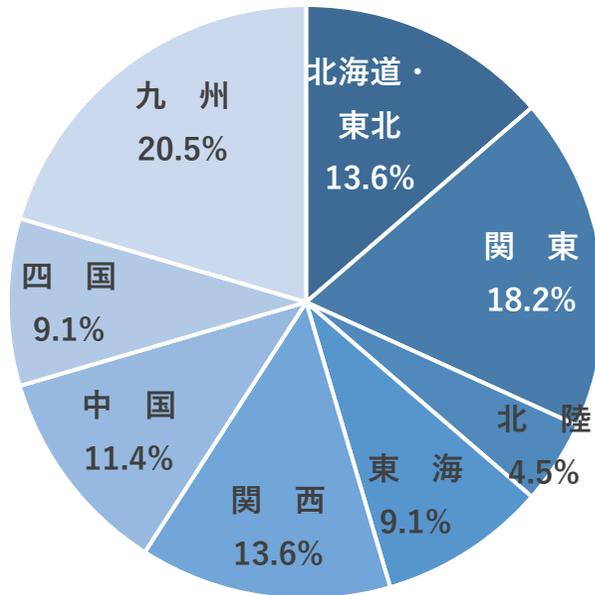




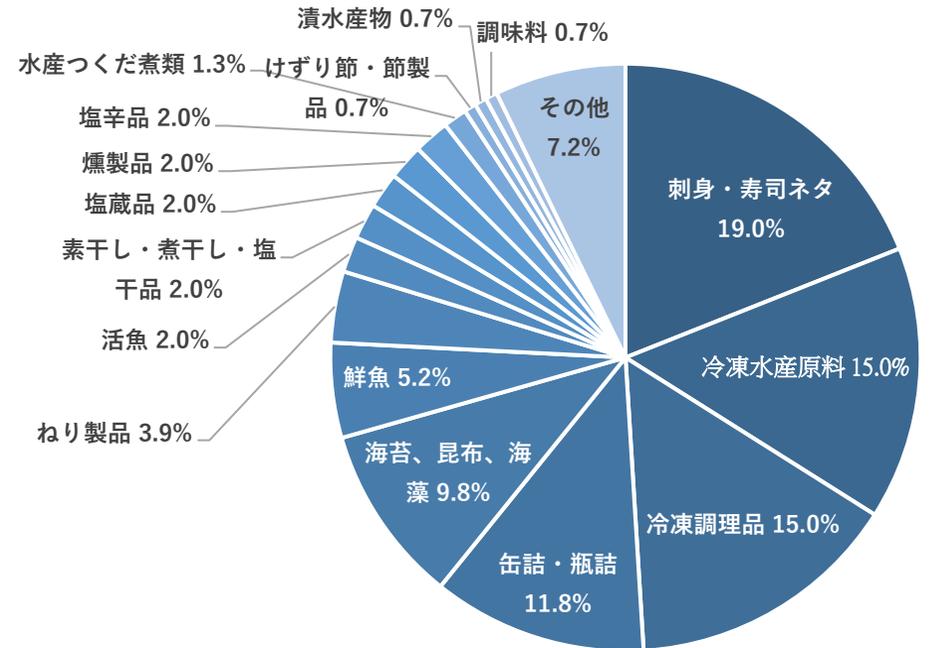
# 開催概要

## (3) 参加者の種別

・ 都道府県・地域別



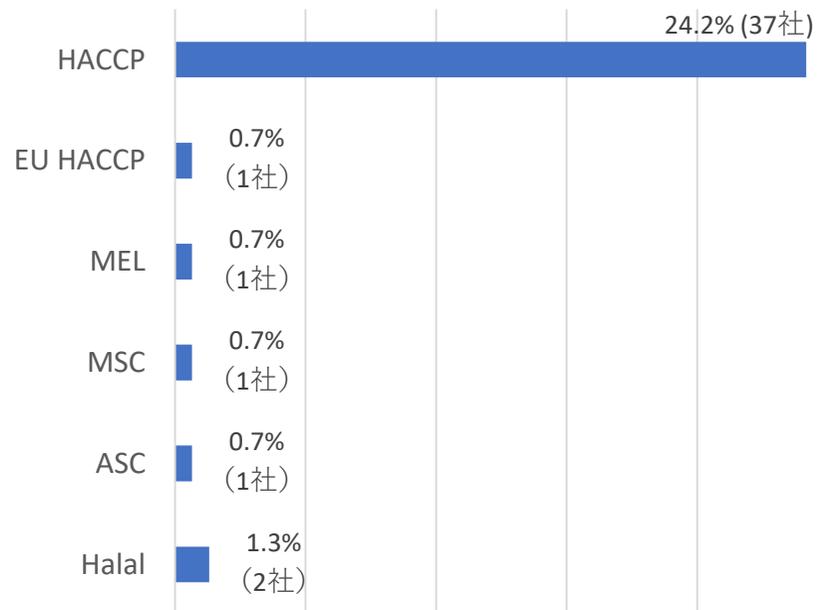
・ 製品分類別



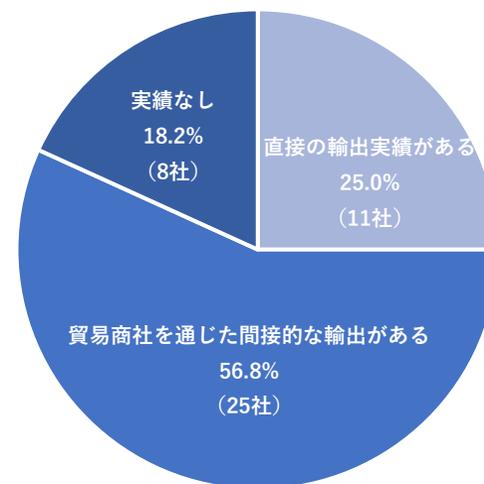
# 開催概要

## (3) 参加者の種別

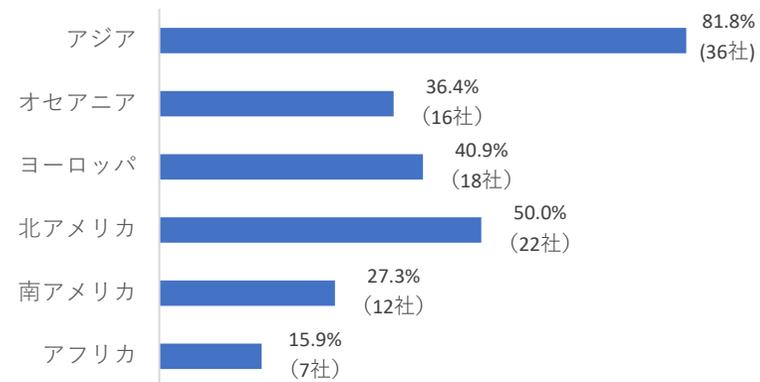
### ・取得認証別（複数回答）



### ・輸出実績別



### ・輸出対象地域



# 出展者製品写真



カネテツデリカフーズ



マルヨ食品



オンスイ



パワー・ブレン



冷水



シーライフ



セブンシーズ



タカハシ食品



谷本蒲鉾店



コタニ



ともや



宇部蒲鉾



アルティメイト



八葉水産



泉力



中幸組



日中商会



樋長



39



Aska Foods Co.,Ltd.

# 出展者製品写真



平安海産



もみじ水産



八起屋



柿内水産



山小三



播磨海洋牧場



広島魚市場



さくら食品



福岡魚市場



おいしい産業



大坪水産



オーシャンドリーム



金子産業



クニヒロ



ダイニチ



双日九州



竹田食品



TA西村



東平商会



Fu

# 海外バイヤーへの案内

## 2. 海外バイヤーへの案内

### 1) 全世界

海外の主要なバイヤー、約10,000業者に案内を実施し、中国・台湾・ザンビア・韓国・シンガポール・マレーシア・ベトナム・インドネシアから合計約500アクセスがあり、そのうち、中国・台湾・ザンビア等からは、具体的に商品説明の希望が寄せられ、メール、電話等で実施した。

#### 事例 - 1：名昇海産服分有限公司（台湾）

「ぜひ我々が取り扱い可能な水産商材を紹介して欲しい」

→ メールで対応し、HPをご覧いただいています。

#### 事例 - 2：Capital Fisheries（ザンビア）

「付加価値が高い水産物を求めています。真空パックの商品も求めています」

→ メールで対応し、HPをご覧いただき、ザンビアへの輸出経験、積極性等の視点で、取り扱いを検討いただいています。



# 海外バイヤーへの案内

## Excellent Japanese Seafood for Export-Online Presentation Feb. 22 (Mon) ~ Mar. 5 (Fri), 2021 Endorser: Japan Aquatic Products Export Council

Presentation Period: February 22 (Mon) ~ March 5 (Fri), 2021  
Endorser: Japan Aquatic Products Export Council

Japanese seafood products have already been highly evaluated by consumers around the world due to their high freshness preservation and processing technology, high quality through Japan's unique hygiene management. As Japan is also one of the largest fish consuming country, there are wide varieties of processing forms such as "Sushi", which has been handed down for a long time.

This site will introduce about 50 seafood companies with export intentions whom like to offer their fish and seafood products with confidence to overseas buyers who are interested in Japanese seafood products.



If there is a product you are interested in on this site, the management office will prepare a place for business discussions with supporting interpreters, etc. In addition, if you have any products that you are currently looking for, please let us know. We take responsibility for searching for excellent Japanese products from within Japan and introducing them to you.

We sincerely look forward to the participation of everyone involved in seafood industry around the world.

**Contact**  
"Excellent Japanese Seafood for Export - Online Presentation" Management office  
Exhibitions Technologies, Inc  
Shin-Aoyama Bldg. Nishikan 8F., 1-1-1 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0062  
TEL: +81-3-5775-2855  
E-mail: [suisan@exhibitiontech.com](mailto:suisan@exhibitiontech.com)

日本産の素晴らしい水産物をご紹介します  
「日本産水産物輸出オンライン商品説明会」

日本産水産物は、高い鮮度保持・加工技術と、日本独自の衛生管理による高品質、そして魚食大国として古くから伝承される“寿司”をはじめとする多種多様な料理により、既に世界各地の消費者からも高い評価を受けております。

本サイトでは、輸出意向を有する水産業者約50社が自信をもってお届けする魚・水産物を順次掲載し、日本産水産物にご興味をもつ海外の皆さまに紹介しております。

本サイトで興味を引く商品がございましたら、事務局が通訳等をサポートしながら、商談の場をご準備させていただきます。また、現在お探しの商品がございましたら、事務局までご一報ください。日本国内から優れた水産物を探し、皆さまにご紹介させていただきます。

世界中の水産食品に関わる皆様の奮ってのご参加を、心よりお待ち申しあげております。

日本産水産物輸出オンライン商品説明会2021  
<https://www.seafood-show.com/seafoodexport/>

掲載期間：2021年2月22日（月）から順次掲載  
主催者：水産物・水産加工品輸出拡大協議会

「日本産水産物輸出オンライン商品説明会」運営事務局  
Exhibitions Technologies, Inc  
Shin-Aoyama Bldg. Nishikan 8F., 1-1-1 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0062  
TEL: +81-3-5775-2855 FAX: +81-3-5775-2856 E-mail: [sf@exhibitiontech.com](mailto:sf@exhibitiontech.com)  
P.09

# 海外バイヤーへの案内

## 2) 重点国：タイ

### (1) タイを重点商品説明先とした理由

- ① 日本に先駆け新型コロナウイルスのワクチン投与が始まり、遅くない時期の収束が期待されている。
- ② コロナ禍で観光産業の割合の高いタイの経済は厳しい状況であるが、コロナ発生前の数年間は日本への観光意欲は非常に高く、タイ人観光客は年々拡大していた。日本へ旅行に行きたいという思いはコロナ禍の現在、日に日に高まっており、日本産品（食品）への関心も依然高い。
- ③ タイ国内の和食店は、フランチャイズ展開を進める寿司店舗等の拡大により新型コロナウイルスの影響を強く受けた2020年度も前年比12.4%増加し、過去最高となっている。2020年は、タイの日本食レストランの増加数が過去最多となっており、2020年現在で4,094店となっている。地方での増加数は20%を超えており、都市部での淘汰も進んでいるが、タイ全土への日本食レストランの拡大が進んでいる。

### (2) 実施内容

- ① 現地の日本食に関心があるバイヤーにヒアリング、そのヒアリング内容を日本の参加者に順次配信した。

### (3) 実施結果

14社の水産加工業者、輸入業者、養殖業者等への商品説明の希望が寄せられ、担当者間で直接商談に至った先（3社）、オンライン商談を実施した先（2社）、現地のディストリビューターと商談を開始した先（5社）、双方に適したディストリビューターを探すことに至った先（2社）となり、総額約1億円の成約を見込める結果となった。

# 海外バイヤーへの案内

## (4) 実施結果への考察

タイには、日本産水産物の輸出実績があり、取り扱う商社もいるが、コロナ感染によって関係が途切れていたバイヤーがあったが、コロナ後を見据えていたバイヤーも多く、適した時期でのプロモーションであったと考えられる。

参加者にヒアリングを実施した際、「廉価な商材ばかりが好まれる市場」との認識が多かったが、バイヤーへヒアリングをすると、高額な商材への需要もあり、日本側とディストリビューター側の情報交換不足と考えられ、今回の取り組みが、市場開拓への良い機会になったと考えられる。

日本産水産物への関心と共に信頼も高く、商品説明のみで商談へと結びつく事例が多かった。各社に於ける適したディストリビューターとの提携、ディストリビューターへの情報発信・共有も重要と考えられ、今後も同様な機会創出が求められる結果となった。



# 海外バイヤーへの案内

## (5) 商品説明を通じた商談事例

### (株) 山小三

商品説明を受け、日本産のカキに興味を持たれ、商談希望が寄せられました。

※ 現在、タイの日本食レストランと商談継続中、成約見込み

### (同) 泉力

商品説明を受け、日本産のウニに特に興味を持たれ、ウニに関しては、より品質の良い商材、その他には、コストパフォーマンスの良い商材を新たな取引先から複数の店舗で仕入れたいとの意向が寄せられました。

※ 現在、タイの日本食レストランと商談継続中、成約見込み

### (株) 39貿易事業部

商品説明を受け、日本産のウニに興味を持たれ、ディストリビューター、より詳しく商品が分かるHP等の提供依頼が寄せられました。

※ 現在、タイの日本食レストランと商談継続中、成約見込み

### (株) アルティメイト

商品説明を受け、日本産のシマアジ、ブリの鮮魚での取り扱いに興味を持たれ、タイの寿司店からディストリビューターの紹介を依頼されました。

※ 現在、タイの日本食レストランと商談継続中、成約見込み

## (5) 商品説明を通じた商談事例

### (株) 冷水

商品説明をしたところ、タイ人経営の和食店、日系レストランのバンコク店の2店よりタラバガニの商談を行いたいとの要望が寄せられました。

※ 現在、2店と商談継続中、2点共に成約見込み

### 日中商会 (株)

商品説明をしたところ、タイの日本料理店よりタコに興味もたれ、商品の形態、足だけでの取り扱いの有無などの質問が寄せられました。

※ 現在、商談継続中、成約見込み

### (株) オンスイ

商品説明をしたところ、大阪本社の水産商社バンコク事務所よりオンライン商談希望が寄せられました。ブリ、タイ等、幅広く商談希望とのことでした。

※ 現在、商談継続中、成約見込み

# 海外バイヤーへの案内

## 3) 重点国：中国

### (1) 中国を重点商品説明先とした理由

- ① 「日本産水産物輸出商談会 in 東京 2019」への参加を契機に、中国漁業協会内に国際貿易分科会として輸出入の促進による交流発展に取り組む部署が設立された。この部署との関係構築は、水産物輸出拡大、日中間の水産物取引に於ける良好な関係構築に資するものと考ええる。
- ② 中国は、コロナ禍の中で、最も早い経済回復を実現する国とされている。「北京オリンピック2022」開催も控え、購買力・購買意欲ある国として説明会実施は有益と考える。
- ③ 中国国民の生活レベルが向上しており、食への関心も高まっている。中国の消費者に高品質な水産物を提供すべく、日本の販売方法と調理方法を紹介することで、日本産水産物への関心を高めることができる。
- ④ RCEPに中国も署名、国を挙げて貿易拡大を望む雰囲気がある。
- ⑤ 中国全土に於ける富の平均化、香港に代わる貿易港（関税免除）・金融都市構想等から、新たな地方都市の開発が進んでおり、窓口の増加が見込まれている。

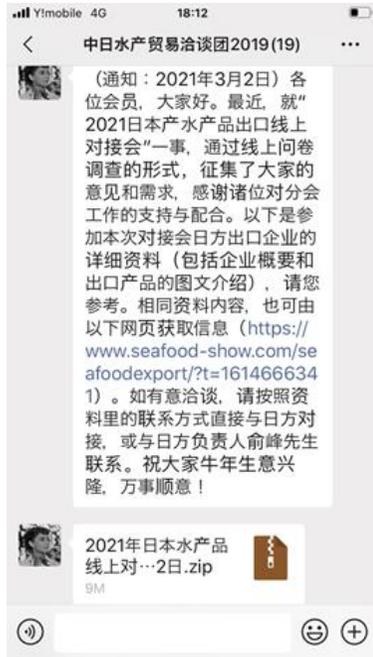
### (2) 実施内容

- ① 中国漁業協会国際分会に許可を得て、「日本産水産物オンライン商品説明会」として、wechatに日本参加者の一覧を掲載した。
- ② 中国側からの申し出により、中国側の取引希望者の一覧も掲載された。
- ③ 現地の日本産水産物に関心があると思われるバイヤーにヒアリングを行い、ヒアリング内容を日本の参加者に順次配信した。

### (3) 実施結果

30社の水産加工業者、輸入業者、養殖業者等へ、商品説明の依頼が寄せられ、運営事務局（中国人スタッフ）が説明を実施し、担当者間で直接商談に至っている件数も3社あり、総額約5～6億円の成約を見込める結果となった。

# 海外バイヤーへの案内



会員企業の皆様、

この度は「日本産水産物輸出オンライン商品説明会」について、アンケート調査を通じて日本産水産物に対しての需要や意見を伺うことができ、ありがとうございました。日本企業の商品情報は以下ファイル、もしくはホームページにてご確認ください。商談希望がありましたら、日本側の事務局の担当者と直接連絡してください。皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



## (4) 実施結果への考察

中国漁業協会国際分会の会員は、海外取引経験があるバイヤーばかりで、日本産水産物への関心も高い。企業規模が大きく加工原料を求める有力な企業が多く、成約すれば大きな金額に至るが、日本側参加者との間で取引希望量、金額に差が大きく、商品説明で決裂する事例もあった。しかし、長期的な商談を見据えたバイヤーも多く、適したプロモーションであったと考えられる。

参加者にヒアリングを実施した際、「廉価な商材ばかりが好まれる市場」との認識が多かったが、バイヤーへヒアリングをすると、高額な商材の需要もあり、日本側の認識不足と考えられ、今回の取り組みが、市場開拓への良い機会になったと考えられる。

今回のバイヤーの特性から、商品種別では、加工原材料が主で、加工品の需要は低く、魚種別では、マダラ、ホタテ、イカと続いた。しかし、今後は、中国での中規模以下のバイヤーの水産需要と思われる水産加工品についても需要開拓は必要と思われる。「春節」、「ランタンフェスティバル」明けの時期の開催であり、中国バイヤーが多忙な時期となり、別の時期であったらより多くの具体的な要望が寄せられていたとのこと、そして期限を設定せず、通年の取り組みを強く希望された。中国に於ける信頼出来る商品説明、商談へつなげる方法の一環として、今後も同様な機会創出が求められる結果となった。

# 中国バイヤーの情報

中国バイヤー	輸入したい日本水産物	担当者	電話番号
大連金倉貿易有限公司	マダイ、ホタテの原料、冷凍ホタテ、ホタテの柱、その他のホタテ製品、マス、サケ、サバなど	姜相军	13332229702
大連凱洋世界海鮮股份有限公司	冷凍サバ、イワシ、タチウオ、ぶり、カキ	万显斌	18241169266
山东海洋物産有限公司	マグロ、イタヤ貝、マダイ、サケ、ぶり、サンマ	潘雅彬	18678968172
北京安万通食品有限公司	マグロ、アジ、ブリ、キンメダイ、キチジ、ウニ、カキ、生カキ、ホタテ、マダイ、サバ、サンマ	王井之	13801380288
中联智科高新技术有限公司	各種の高品質の冷凍水産物、加工品など	刘延平	13811047406
山东东方海洋科技股份有限公司	スケトウダラ、カレイ、マダイ、養殖キハダマグロ、サバ、カニ	王伟	18605353296
深圳和之道日式食品有限公司	クロマグロ、ウニ、キチジ、キンメダイ	周小琳	13717003388
共麟实业深圳有限公司	イカスミ、水生加水分解物(飼料用)、魚粉	鲍晓颖	18013838229
大連远洋漁業国際貿易有限公司	冷凍水産物、サバ、ソウハチガレイ、タラ、ホタテなど	修岩	13842611368
中国水産舟山海洋漁業有限公司	マグロ、イカ、水産加工品	繆婷	15906800590
東港市港珠食品有限公司	日本市場での当社製品のさらなる普及が期待されます	沈安阳	13841538341
广西精工海洋科技有限公司	当社の金ナマズなどの水産物を日本、東南アジア、海外市場に輸出する必要があります	沈鑫	18677910016

## 3. 総括

令和元年度補正予算事業「海外バイヤー招聘事業」が、コロナ禍により実施困難な状況であるため、その代替措置として、通信機器・手段を最大限に活用した「日本産水産物輸出オンライン商品説明会2021」を実施した。

バイヤーの対象国は、全世界のバイヤーを対象としながらも、成果に繋がる具体的な説明が出来ること、かつ以下の4点を重視した結果、タイと中国を重点国として実施することとした。

- ① オンライン活用の際、時差による時間的な制限が少ないこと
- ② コロナウィルス禍の影響が少ないこと
- ③ 日本食への関心が高い、もしくは高くなることが見込まれること
- ④ 現地で渡航に代わるような商品説明サポート体制が確立できること

商品説明においては、時間の効率化、行き違いの少ない有益なものとなるよう、事前に海外バイヤー、日本側参加者の双方へのヒアリングにも注力した。前回の「日本産水産物輸出商談会in東京」の際も、バイヤーへのヒアリングを徹底することで、商談先を増加することが出来た経験があり、今回も参加者、バイヤーの双方へのヒアリングを徹底し、その情報を電子メール、FAX等で相互配信することで、効果的な商品説明条件を整えた。

その上で、海外バイヤーが日本側参加者に直接問い合わせをしたり、商品説明を依頼することをしりごみする傾向があるため、事務局、もしくは現地サポート会社にお問い合わせをいただけるように設定した。短期間ながら多くの問い合わせがバイヤーから寄せられ、この商品説明会が商談機会の有効な契機となることが確認できた。気軽に問い合わせを頂く環境作りは、商品説明には必須であると考えられる。続いて、双方の要望を調整することは、多くの手間と労力を要するが、対面に代わる有益な商品説明や商談の実現には、この様な取り組みが必要と感じられた。

国ごとに商品説明環境が異なり、現地の事情に合わせた商品説明環境の設定も必要と思われることから、タイは、現地パートナーがバイヤーを訪問して直接ヒアリングをしながら、商品説明を実施した。多数のバイヤーに対し、日本側参加者は、オンライン商品説明だけでなく商談も実施出来た。中国は、中国漁業協会にwechatに出展者情報を都度掲載し、wechatに登録されている有力な中国水産企業に広くアピール、お墨付きとの印象を与え、安心して具体的な商品説明が実施できる環境を創造することが出来た。

以上の結果、3月11日時点でタイからは14社から1億円、中国からは確実な見込み額としては約2億円、さらに今後十分に期待される金額を含めた場合は6億円程度の商談成果が見込まれる結果となった。